

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



聞いて・触れて歴史を感じる 歴史ボランティアの会が視覚 障がい者に初の歴史ガイド

常陸風土記の丘にて行われた歴史ガイドに参加したのは水戸市視覚障害者協会の23名。この取り組みは、参加者の安全を配慮した上で行われました。

参加者の皆さんは手を取り合い、互いに協力しながら園内を歩いていました。園内では、歴史ボランティアの会の皆さんの説明の下、現代・中世・古代とそれぞれの時代を表した「時の門」に触れ、石の加工の違いなどから敏感に歴史の変遷を感じ取っていました。



▲歴史ボランティアの会のガイドの下、常陸風土記の丘の園内を散策する水戸市視覚障害者協会の皆さん。



▲(写真左から) 筑波銀行那珂支店支店長 荒川誠様、木内酒造株式会社代表取締役社長 木内敏之様、谷島市長、児島教育長

筑波銀行を通じて寄付 木内酒造株式会社から 「地域の未来応援債」が贈呈

筑波銀行が取り組むSDGs 私募債「地域の未来応援債」の制度を活用し、木内酒造株式会社から市へ20万円が寄付されました。これは、企業の私募債発行による手数料の一部を、地方公共団体や学校に寄付・寄贈するサービスがついた私募債です。

木内酒造(株)代表取締役社長 木内敏之様から「社会教育事業に役立ててほしい」と思いを受け、谷島市長は感謝とともに「地域の社会教育の拠点である地区公民館での活用を検討していきたい」と答えました。

海の向こうからやってきた！ 台湾バナナが 市内小中学校の給食で提供

11月15・16日に市内小中学校の給食で台湾バナナが提供されました。現在、県では、台湾との交流拡大に向けて、台湾産の食品を積極的に取り入れる取り組みなどを進めています。子どもたちからは「普段食べているバナナよりも香りが強かった」「味が濃くておいしかった」といった感想が挙がりました。また、自主学習で台湾バナナについて調べてきた子もいました。海の向こうの台湾に想いを馳せながら、みんなおいしそうにバナナをほおぼっていました。



▲①栄養教諭の大谷先生から台湾バナナについて説明を受ける児童
②③④台湾バナナを食べる石岡小学校の6年生



▲石岡駅周辺の清掃活動を行うバドミントン部生徒

清掃活動を通して地域へ貢献

石岡一高生による クリーンアップボランティア

石岡第一高等学校の生徒会や運動部 13 団体による学校周辺のクリーンアップボランティアが行われました。生徒達は、校内および石岡駅や学校周辺の沿道を所属グループごとにエリアに分かれて清掃を行いました。参加した生徒達は、配布されたゴミ袋をいっぱいにするほど、熱心にゴミを拾っていました。また、沿道にお住まいの地域の人達へ、元気よく挨拶を行いながら活動を行う生徒達の様子が見受けられました。

伝統文化の灯を守る

真家みたまおどり保存会に 地域文化功労者表彰

真家みたまおどり保存会が、民俗文化財の保存や継承、地域文化の振興などの功績により、文化庁から「令和 4 年度地域文化功労者表彰」を受けました。

真家みたまおどりは、平安時代末期に始まったと伝えられる念仏踊りで、県指定無形民俗文化財に指定されているほか、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」にも選ばれています。

同会では、次世代の後継者育成に取り組むほか、市や県内外での公演など、普及啓発を行っています。



▲(写真左から) 真家みたまおどり後援会長 長谷川正様、谷島市長、真家みたまおどり保存会副会長 高桑照夫様、事務局 久保田哲夫様



▲周囲を確認し、ぶつからないように自転車を操作していました。

恋瀬ことりの森幼保園にて

安全を学ぶ

デンマーク式自転車教室開講

デンマーク式自転車教室とは園児や児童向けの教育で、「自転車安全」、「社会性」および「自転車に乗ることの楽しさ」を学ぶことを目的としています。

自転車によるまちづくりを進めていくため、恋瀬ことりの森幼保園の年長クラス 23 人を対象に、自転車教室を行いました。園児たちは、ペダルのないキックバイクに乗り、さまざまなゲームを楽しみながら、運転スキルや周囲の安全確認を身につける時間となりました。